



TIE FIGHTER™

SIENAR FLEET SYSTEMS TIE/Ln SPACE SUPERIORITY STARFIGHTER

機体解説

DEVELOPMENT & MECHANISM

■タイ・ファイターとは

帝国軍の一人乗り小型宇宙戦闘機タイ・ファイターは、全銀河の帝国軍支配星域のあらゆる軍事施設に配備されているため、銀河市民が必ずその姿を目にする存在であり、帝国軍の絶対支配の象徴といえる。

制式名称はサイナー・フリート・システムズ社製TIE/Ln戦闘機。製造元であるサイナー・フリート・システムズ社は、共和国時代にはリパブリック(国立)・サイナー・システムズ社という名称であり、つまりは共和国から帝国へと二つの国家体制をまたいで生き延びてきた、国家直営の軍事企業である。

■開発経緯とバリエーション

タイ・ファイターの原型機であるT.I.Eが開発されたのは、サイナー社がまだリパブリック(共和国)の名を冠していた時代のことである。その後このT.I.Eに改良を加えたTIE数モデルを経て、一般的なLnモデル(Front Line=最前線投入型)として定着した。

タイ・ファイターには、任務に応じた内部換装が行われたバリエーションが数機種あるが、外形上ではLnと全く同一であるため、それらをLnと区別するには、運用状況と行動中の随行機数から判断しなければならない。例えば反乱軍が初代デススターを破壊したくヤヴィンの戦い直前に、惑星オルデラーンの残骸からなる小惑星帯を単独で調査飛行をしていた機体は、タイ・スカウトと呼ばれる限定生産の軽偵察任務機だった。

またその他のバリエーションとしてはセンサーと通信機能を強化した偵察機TIE/rc(後に後継機タイ・ヴァンガードへと発展)、宇宙戦艦に装備される長距離用大型砲を管制するTIE/fc、タイ・ポマー開発以前に固定目標攻撃任務に使用されたTIE/gt等がある。

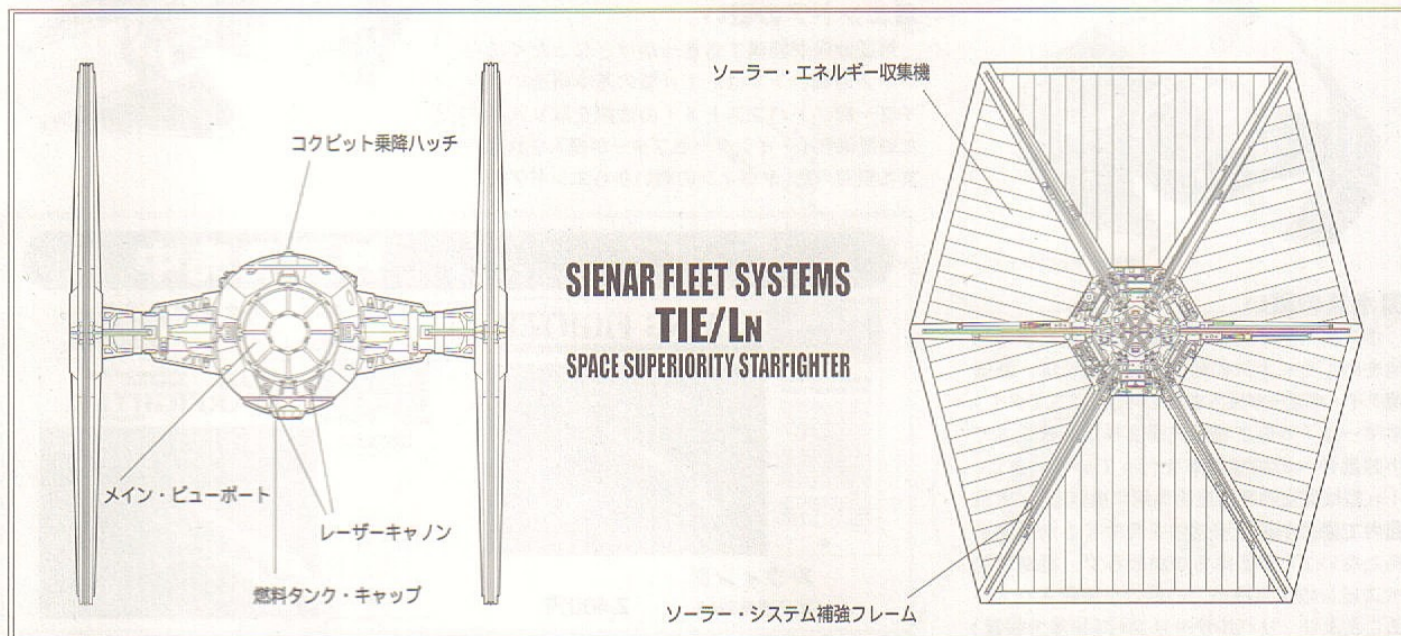
Ln型はシャトルの護衛任務には2機で行動し、基地や母艦のパトロール任務では4機単位で運用される。攻撃中隊は通常12機で構成され、大隊は6個中隊、すなわち72機で編成される。

■武装・装甲

タイ・ファイターはその設計方針から運用まで、あらゆる面で帝国の国家思想が反映された機体と言える。主目的は真空の宇宙空間における敵機の撃墜と殲滅であり、その目的達成のために徹底的な運動性と攻撃力が追求されている。しかし、その一方で自機の防御やパイロットの生命維持にはほとんど配慮がなされていない。

武装はコクピット下部に装備された2門のレーザーキャノンのみである。自機を防御するための対ビームシールドや脱出用の射出座席が未装備であるどころかコクピットの気密性さえ考慮されておらず、パイロットの呼吸や生命維持は、もっぱら彼らが着用する宇宙服式フライトスーツの気密性と内包する呼吸用空気に依存している。

2枚の縦長のソーラーパネルに挟まれた球形のコクピットモジュールという機体のスタイルには、高速を発揮できる運動性能との相乗効果で、敵機の標的になりにくいというメリットもある。





■操縦・メンテナンス

タイ・ファイターが機体名に冠するTIEとはツイン・イオン・エンジンの略称で、動力を六角形のソーラーパネルで吸収し、光速近くまで加速させたイオン化ガスの細粒を2基のイオンエンジンから噴射して推力を得るという独特の推進機構を持つ。イオン流は機体からほぼ全方向に噴射可能なため、熟練したパイロットは細粒を自在に操作して機敏に方向転換を行うことができる。しかし、機体構造が急激な逆噴射に耐えられないため急停止は不可能で、また不慣れな新米パイロット

が操縦不能に陥ることも珍しくない。

機体の軽量化と運動性の向上とひきかえに、タイ・ファイターの航続距離や交戦可能時間は極端に短く、ハイペース航行機能もないため、その運用には補給や調整のための母船や宇宙基地の存在が不可欠であり、また配備される機体数の多さで1機当たりの非効率性をカバーしている。格納ベイでは天井から専用ラックでつり下げられ、パイロットは上方の搭乗ハッチより乗り込む。軽量化の一環として着陸脚を持たないタイ・ファイターは、2枚のソーラーパネルの底面を用いて接

地できるだけの機体強度は持ち合わせているが、この着陸スタイルはあくまでも緊急非常時に限られており、本来は収納専用の基地施設に大きく依存する存在である。

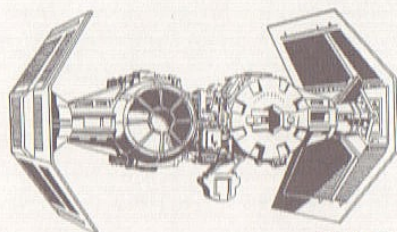
帝国軍のパイロットは反乱軍のパイロットとは異なり、特定の機体に愛着を抱いたり、自己の所有物として扱うことはない。完全に調整された機体は、どの1機をとっても工場からロールアウトした新品と全く条件が同じであり、また任務遂行上、同じ機体に乗る込むことが2度とないことを心得ているためである。

実戦記録

TIE FIGHTER IN ACTION

■ヤヴィンの戦い

「個人は国家のためにある」という帝国の絶対思想を反映したタイ・ファイターは、全ての機体の条件が同一であり、基本的に特定の機体という概念が存在しない。とはいえ初代デスターで反乱軍と繰り広げられた戦闘（通称<ヤヴィンの戦い>）では一部の機体のコールサインとパイロットのコードネームが記録に残っている。それは、ダース・ベイダー卿の駆る新型機アドバンストX1の僚機をつとめ、デスターのトレンチ内で反乱軍のXウィングやYウィングを次々に葬り去った2機について、ベイダーの左翼をつとめたブラック2のパイロットDS-61-2と、同じく右翼をつとめたブラック3のパイロットDS-61-3である。



■タイ・ボマー

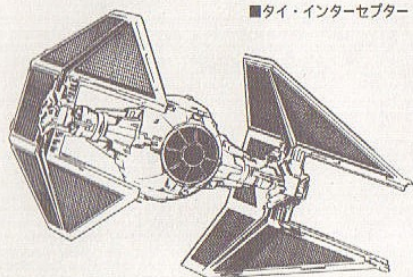
を装備していると推測される。

また、この<ホスの戦い>から、第2デスターをめぐる<エンドアの戦い>にいたるまでの1年間に、攻撃力を増強したタイ・ディフェンダーが特殊部隊に限定配備され、皇帝パルパティーンに謀反を企てたザーリン提督の討伐に使用されている。

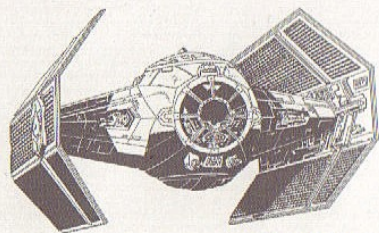
■エンドアの戦い

帝国政府が崩壊するきっかけとなった<エンドアの戦い>では、1n型の基本構造にベイダー機アドバンストX1の性能を取り入れた新型機タイ・インターセプターが投入された。また銀河内乱<ヤヴィンの戦い>からエンドアの

戦いまでの総称)末期には、ダース・ベイダーの要請で、高度なステルス性能を持つTIE/st V38 ファントムも秘密裏に開発されている。その後のタイの派生種には、スローン大提督の要請で開発されたシミター・アサルト・ボマーと、タイ・ファイターの操縦ポッドを転用して両脇にキャタピラを装備した地上兵器タイ・タンク(別名タイ・クローラー)があり、それぞれエンドアの戦いの5年後と6年後までに実戦に投入されている。



■タイ・インターセプター



■タイ・アドバンストX1

■ホスの戦い

ホス星系第6惑星に建設された反乱軍の基地をめぐる<ホスの戦い>の前後には、新型機タイ・ボマーが投入されている。ここでタイ・ボマーは1n型2機に先導された2機編成で小惑星帯への絨毯爆撃を行っている。また、1n型は真空の宇宙空間専用の機体形状(大気圏内で揚力や飛行安定性を発生する水平翼を持たない)であるにもかかわらず、雲海惑星ベスピンの大気圏内での飛行が確認されていることより、リパルサーリフト(半重力装置)

スター・ウォーズ
1/72スケールプラスチックモデルキット

好評発売中



X-WING FIGHTER
INCOM CORPORATION T-65 X-WING SPACE SUPERIORITY FIGHTER

X-ウィング
製品番号SW-1 2,400円



JEDI STARFIGHTER
Kuat Systems Engineering Light Interceptor with hyperdrive ring

ジェダイ・スターファイター
製品番号SW-3 2,500円

作る前にお読みください

- あらかじめ本説明書の全ての工程に目を通し、加工する部分や前後の工程との兼ね合いなどを確認したうえで組み立てに入ってください。
- このキットには接着剤、塗料が入っていません。プラスチックモデル用の塗料と接着剤を別にお買い求めください。
- 各部の塗装はGSIクレオスMr.ホビーカラーの番号を□内の数字で、続けて色名を指示しています。水性ホビーカラーやタミヤカラーをご使用の場合は、別紙のカラーナンバー対応表を参考にしてください。

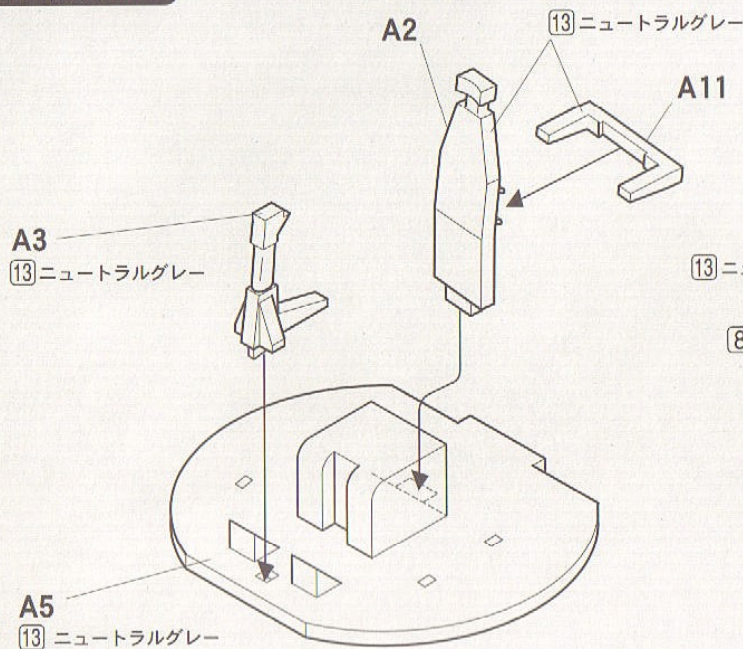
注意

- *組み立てる前に必ずお読みください。
- *12才以下の方が組み立てる時は保護者の方もお読みください。

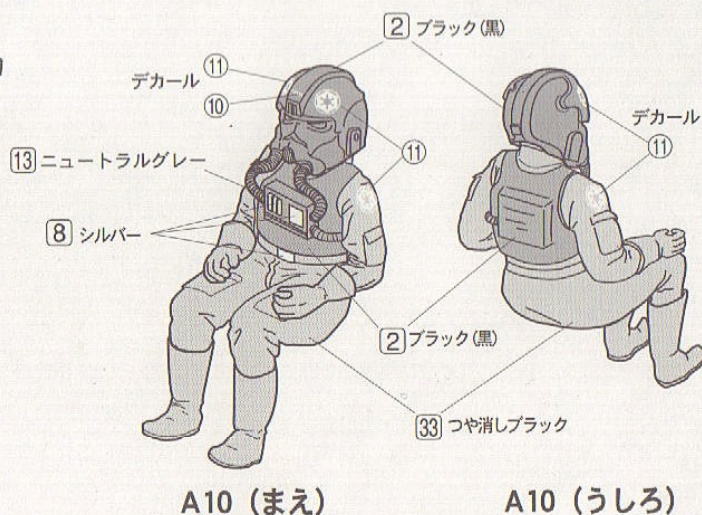
1. 組み立てモデルです。作る前に組み立て説明書をお読みください。
2. 部品を取り出した後のビニール袋は、小さな子供が頃から被ったり、飲み込んだりすると窒息の恐れがありますので、破り捨ててください。
3. 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズはゴミ箱に捨ててください。
4. 部品はやむくなくてはならない箇所がありますので使用目的以外は、絶対に遊ばないでください。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
5. 小さな部品がありますので、誤って飲み込まない様にして下さい。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
6. 部品組み立ての際、ニッパー、ナイフ、ヤスリ等を不用意に取り扱うと、刃先で怪我の恐れがあります。12才以下の方は保護者の指導のもとに取り扱ってください。
7. 接着剤、塗料を使用する場合は、下記に注意してください。
 - *閉めきった室内では使用しないでください。中毒の恐れがあります。
 - *火の近くでの使用は絶対にやめてください。引火の恐れがあります。
 - *接着剤、塗料は目や口に入らないでください。誤って目や口に入れたときはすぐに大量の水で洗い流し、医師に相談してください。
8. 工具、接着剤、塗料、電池等を使用する場合は、その説明書の注意事項をよく読んで正しく使用してください。

1 座席の組み立て

※各説明図の太字はパーツ番号を、○内数字はデカール番号を表します。

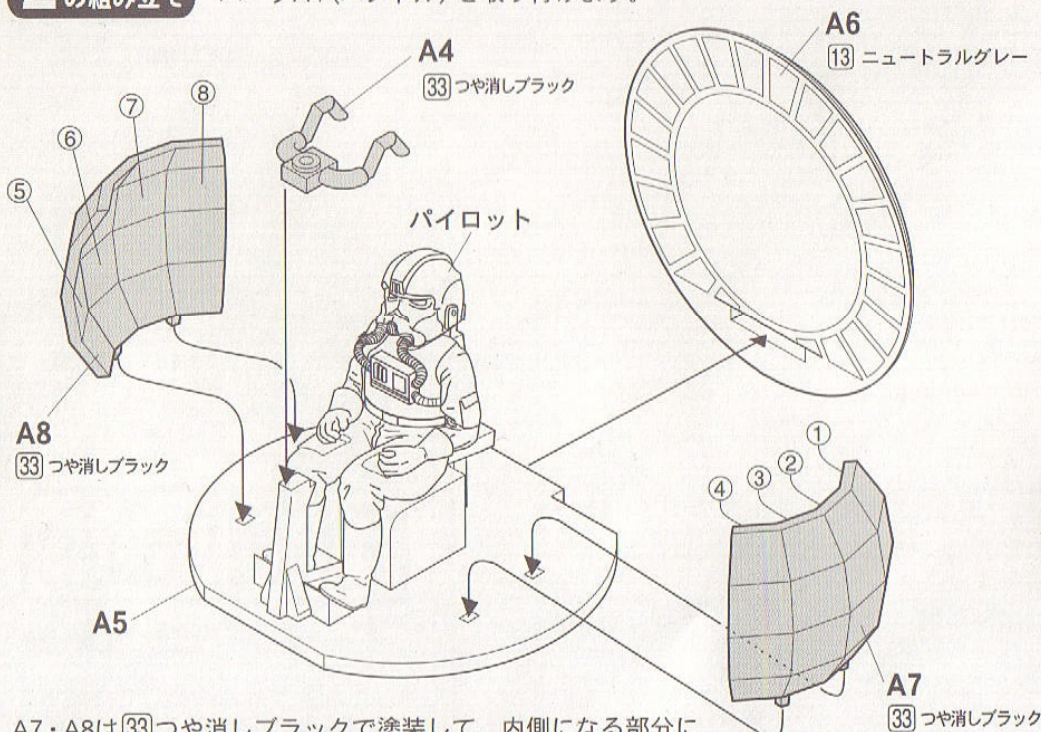


〈タイ・ファイターパイロットの塗装〉

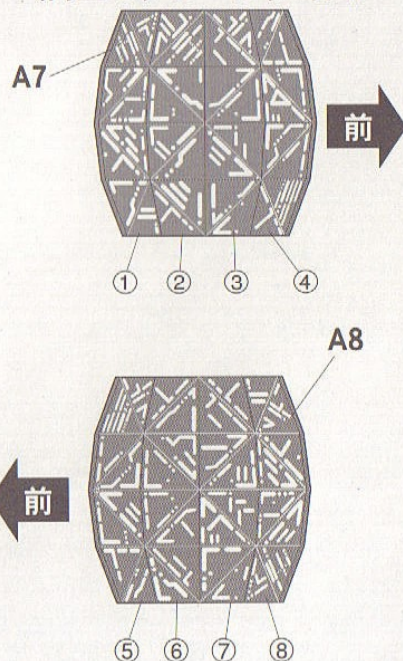


2 コクピットの組み立て

パイロットを乗せる場合は、人形を座席に付けてからパーツA4 (ハンドル) を取り付けます。



〈内壁のデカール参考図〉

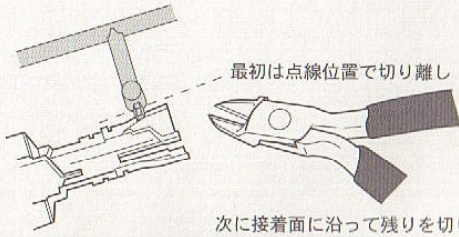


A7・A8は33つや消しブラックで塗装して、内側になる部分にデカール(①～⑧)を貼った後、A5に取り付けます。

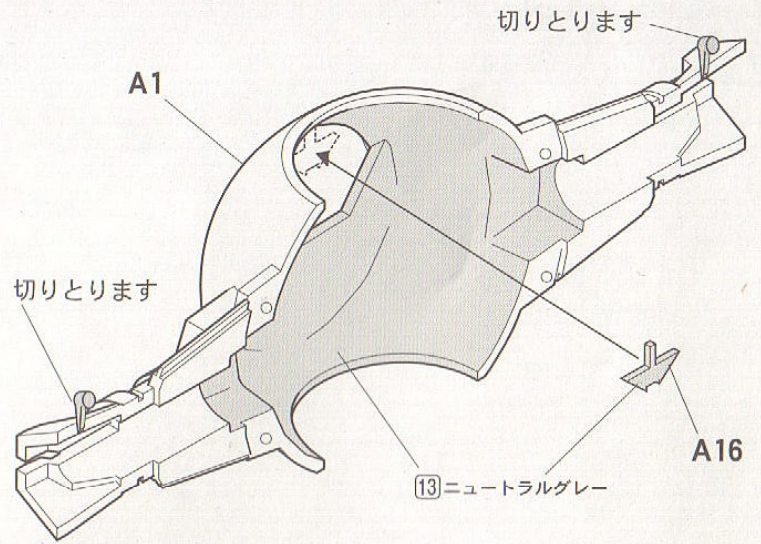
3 装備品の 取り付け

A1・15・16・17・20のそれぞれのパーツとF2パーツは、パーツとランナー(枠)との接合部が接着面に突出する形で成形されています。これらはランナーの切断跡が完成品の表面に現れないよう配慮したものです。パーツはランナーが若干残る位置で切り離し、その後接着面に合わせて残りを切りとると良いでしょう。

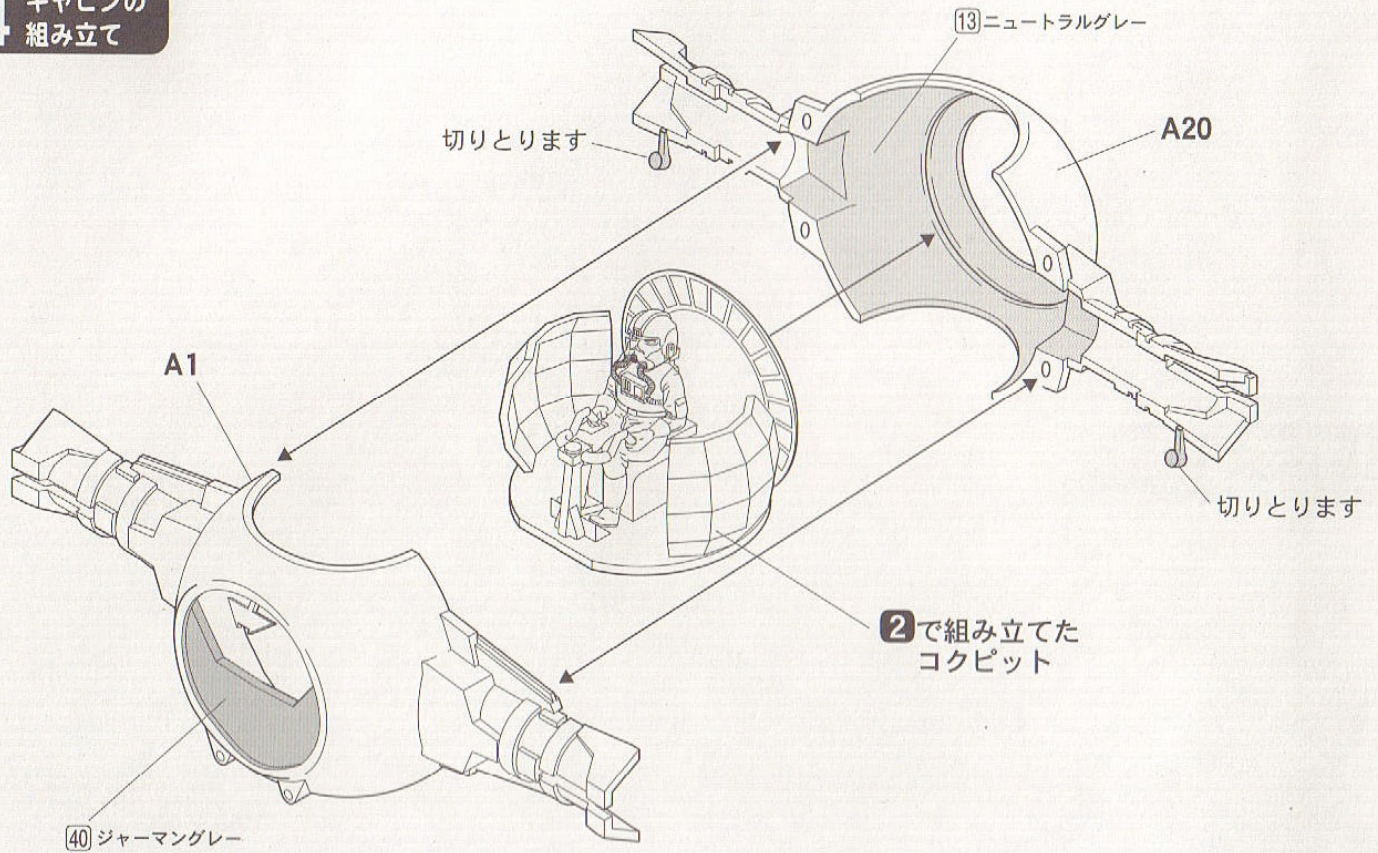
※ニッパー・カッター等を用いる場合はケガに注意



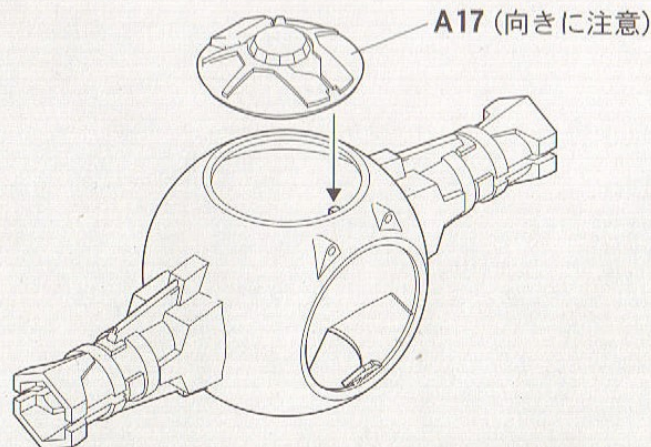
次に接着面に沿って残りを切りとります



4 キャビンの 組み立て

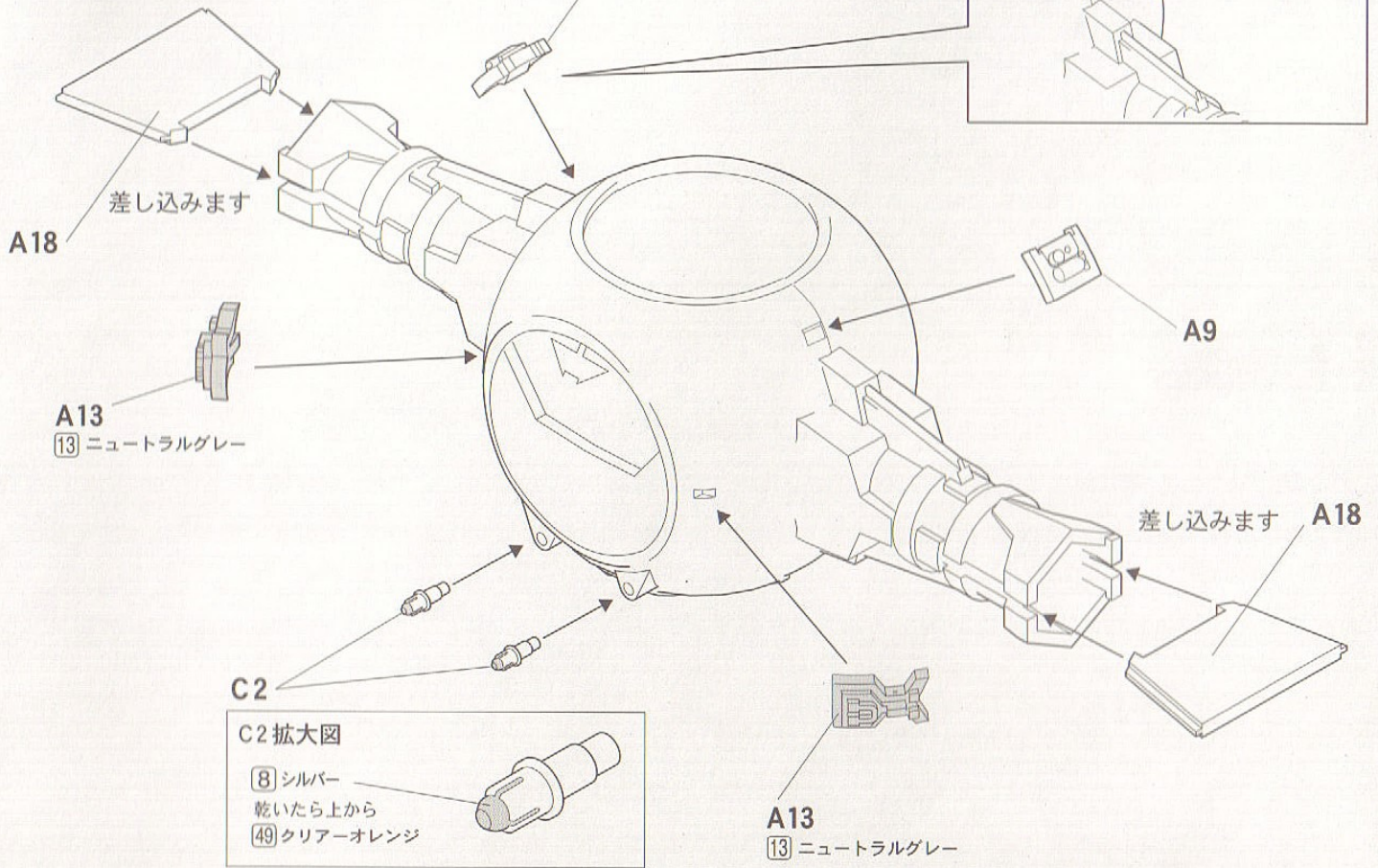


5 キャビン下部の 組み立て

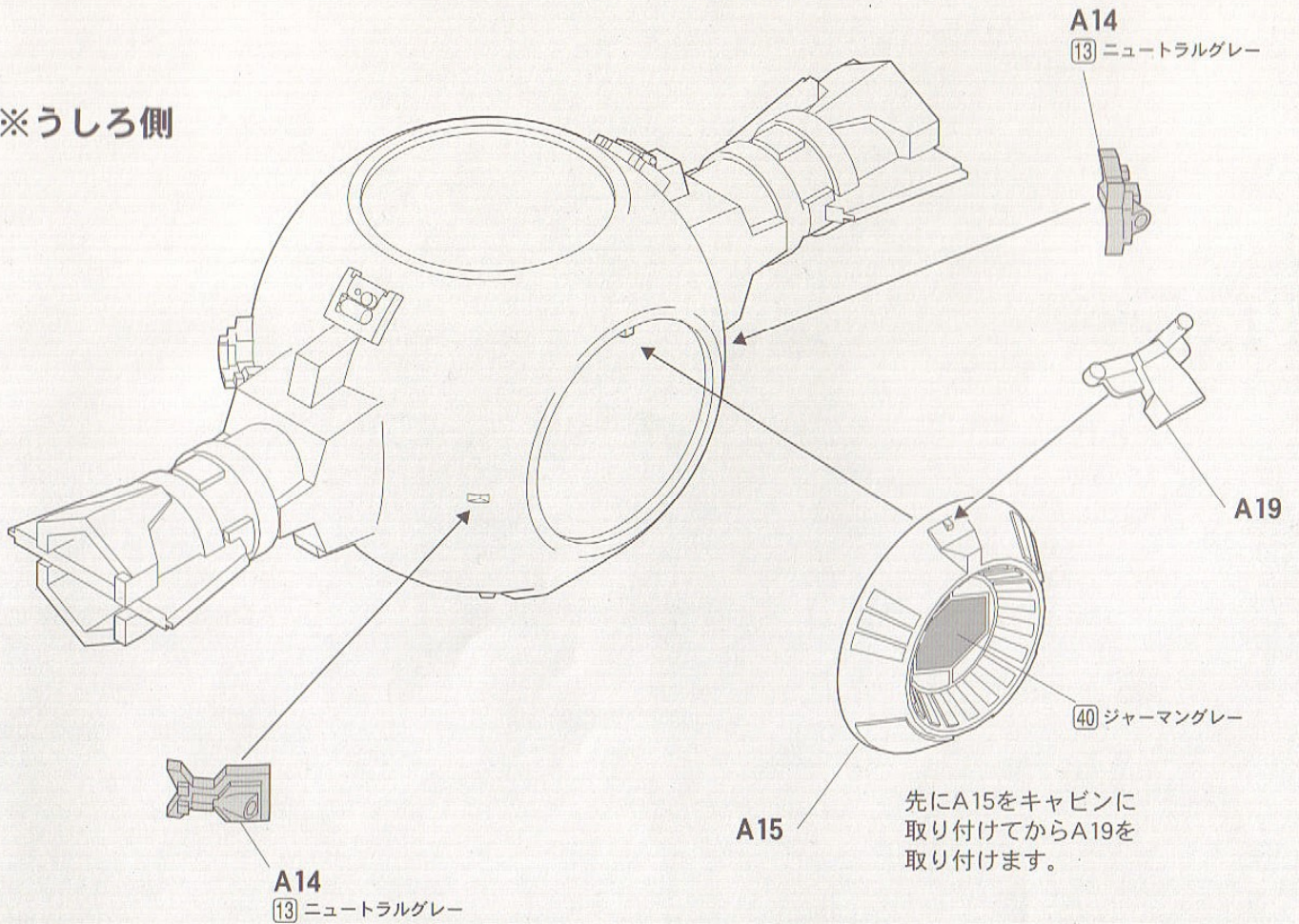


6 各部品の 取り付け

※まえ側

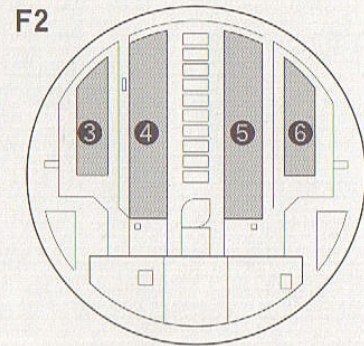
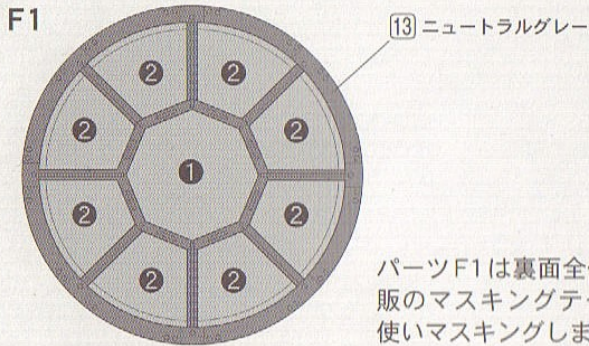


※うしろ側



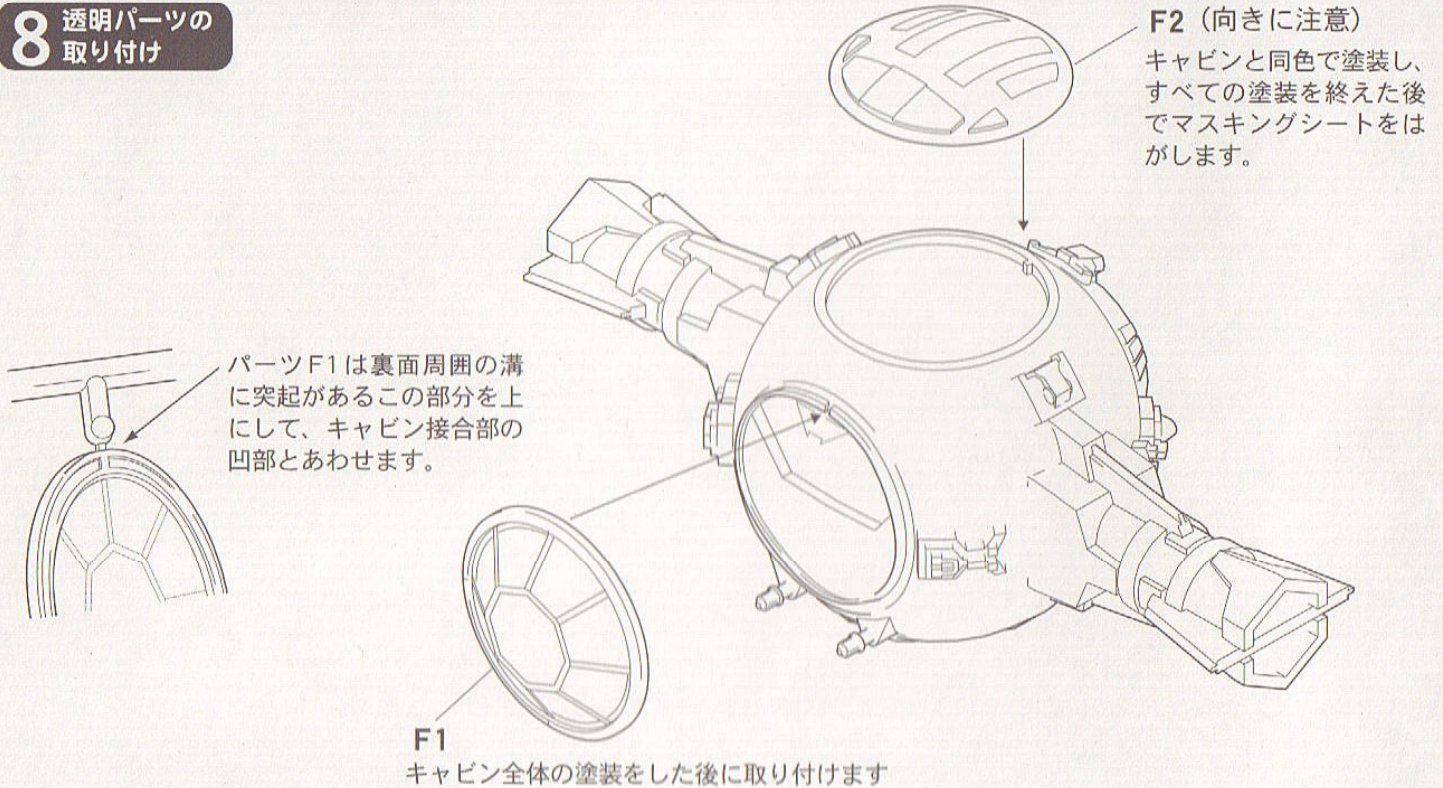
7 透明パーツの マスキング

付属のマスキングシートをラインに沿ってカッターなどで切り抜き、①から⑥の順に貼ります。



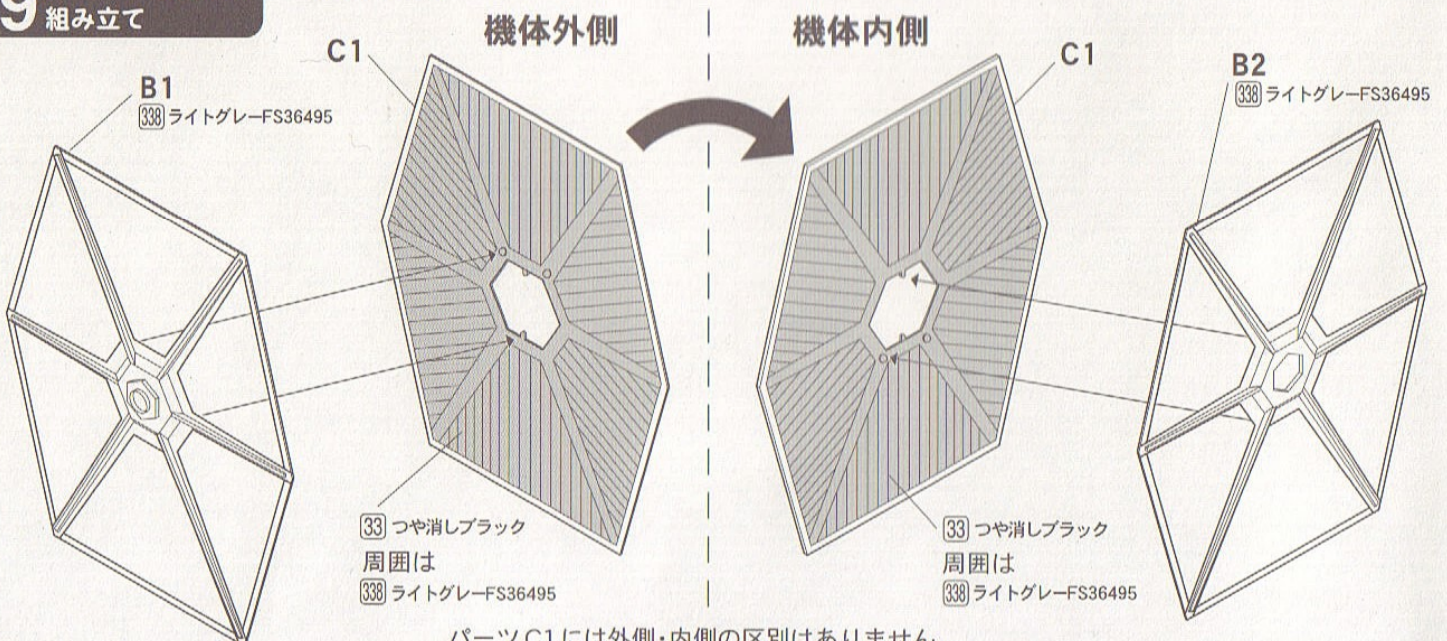
パーツF1は裏面全体も市販のマスキングテープを使いマスキングします。

8 透明パーツの 取り付け

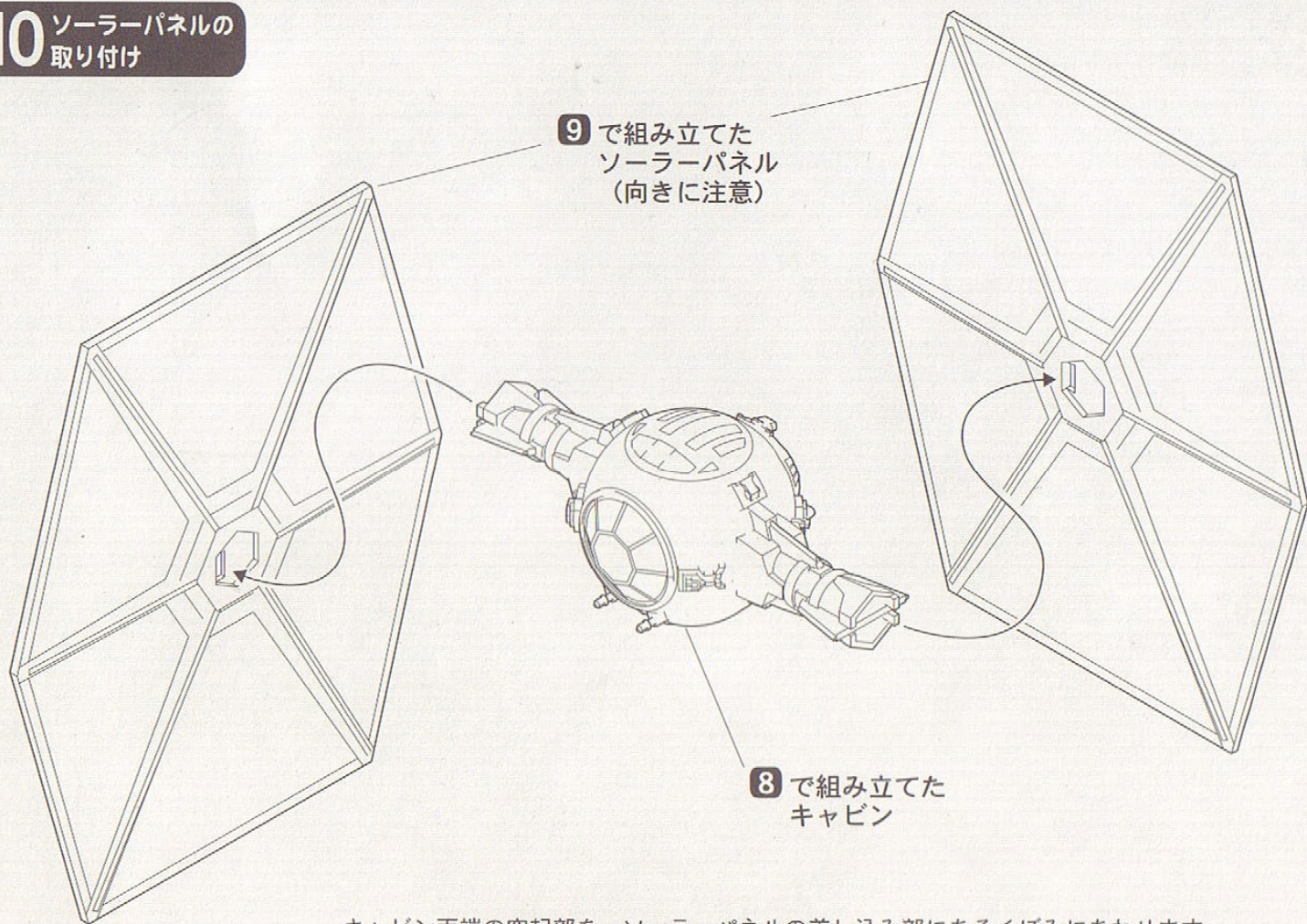


9 ソーラーパネルの 組み立て

2組作ります

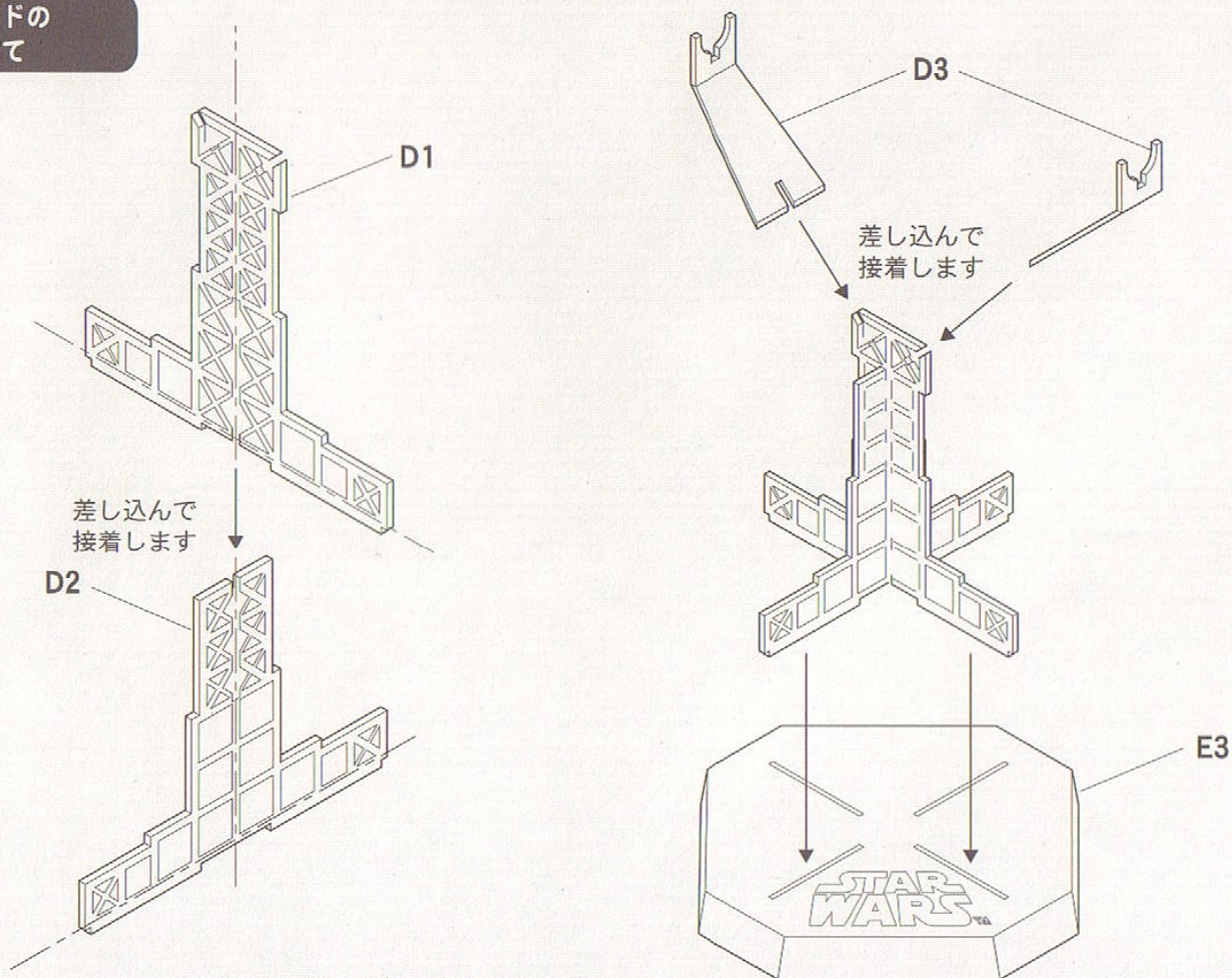


10 ソーラーパネルの 取り付け



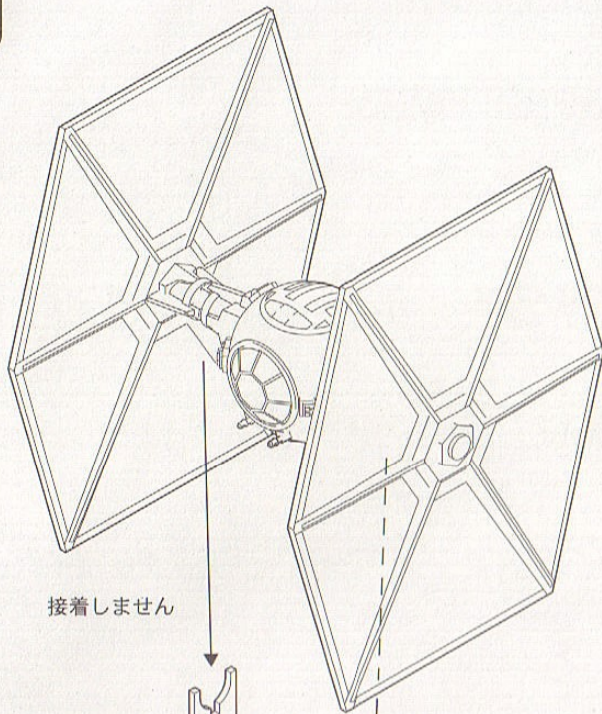
キャビン両端の突起部を、ソーラーパネルの差し込み部にあるくぼみにあわせて。

11 スタンドの 組み立て



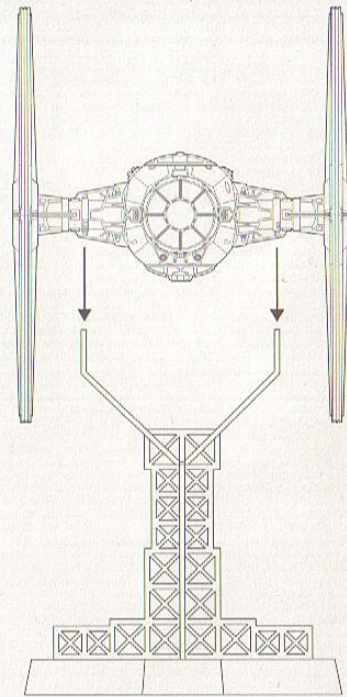
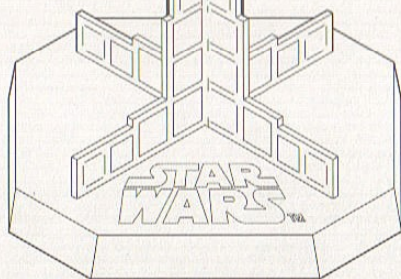
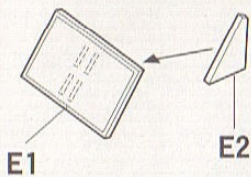
スタンドは好みの色で塗装してください

12 スタンドの
取り付け



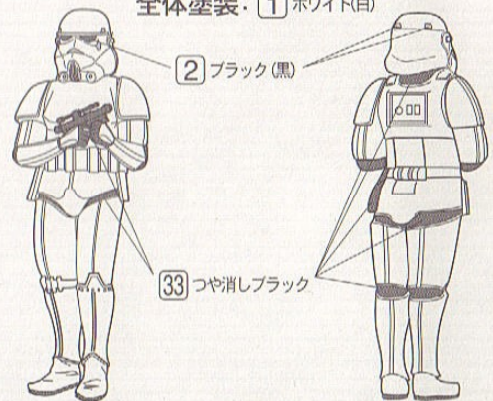
接着しません

E1にはデカール9または
24をはります。



〈ストームトルーパー(パーツC3)〉

全体塗装: ① ホワイト(白)



カラーナンバー対応表

※あくまで近似色での表示です。

GSICレオスMr.カラー (図中の□内数字)	GSICレオス水性ホビーカラー	タミヤカラー
C-1 ホワイト(白)	H-1 ホワイト(白)	X-2 ホワイト
C-2 ブラック(黒)	H-2 ブラック(黒)	X-1 ブラック
C-8 シルバー(銀)	H-8 シルバー(銀)	X-11 クロームシルバー
C-13 ニュートラルグレー	H-53 ニュートラルグレー	XF-53 ニュートラルグレイ
C-33 つや消しブラック	H-12 つや消しブラック	XF-1 フラットブラック
C-40 ジャーマングレー	H-32 ダークグレー	XF-63 ジャーマングレイ
C-49 クリアーオレンジ	H-92 クリアーオレンジ	X-26 クリヤーオレンジ
C-338 ライトグレー-FS36495		

デカールの貼り方

1. 貼るマークのみをカッターナイフやハサミで切り抜きます。
2. マークを10秒ほどぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 台紙ごと貼る位置にマークを持っていき、マークのみをスライドさせながらモデル上に移します。
4. 濡らした指や筆等でマークを所定の位置にずらしません。
5. 位置が決まったら柔らかい布等でマークの中心から気泡と水分を押し出すようにしてマークを固定します。
6. 曲面や表面の彫刻に馴染ませたいときは、蒸しタオルやマークソフター等を使うと良いでしょう。貼ったマークは水分が抜けて固着するまで不用意に触らないようにします。

アフターサービスについて

部品を請求される方は右のカードの必要部品を○で囲み、お名前、御住所、御電話番号をはっきりと書き添え、代金を現金書留または定額為替にて当社アフターサービス係までお申し込みください。なお、価格は消費税、送料込みとなっております。また価格は予告無く変更することがございますのでご了承ください。

✂

SW-2 タイ・ファイター	
A	¥900
B (1枚)	¥600
C (1枚)	¥600
D	¥400
E	¥500
F	¥500
デカール	¥600
マスキングシール	¥300
説明書	¥400
For Japanese only SW-2	

JOY KITS LABO.
Finemolds[®]
ファインモールド
〒441-3301
愛知県豊橋市老津町字的場53-2
TEL:0532-23-6810 FAX:0532-23-6811
http://www.sala.or.jp/~fm/

塗装とマーキング

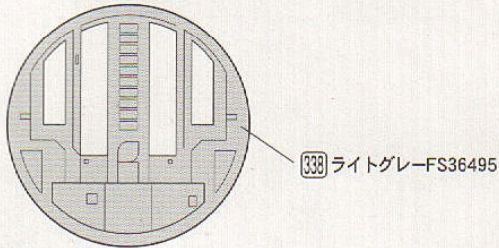
●各部の塗装はGSIクレオスMr.ホビーカラーの番号を□内の数字で、続けて色名を指示しています。細部の塗装は組立説明図中にも表示しています。水性ホビーカラーやタミヤカラーをご使用の場合は、組立説明書巻末のカラーナンバー対応表を参考にしてください。

タイファイターの基本塗装

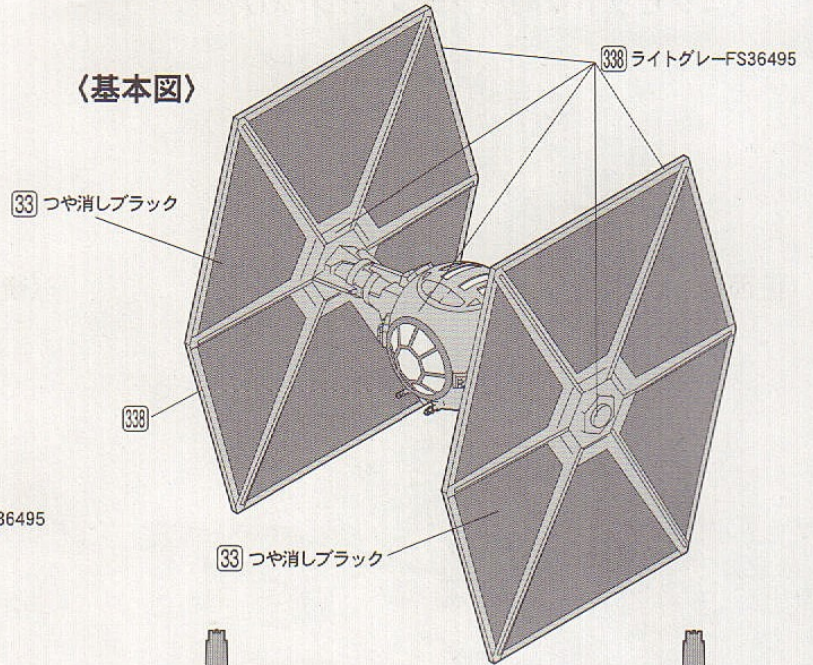
タイファイターの塗装パターンは基本的に全機共通ですが、一部には細部に独特のマーキングを施した機体もありました。基本塗装は下記の基本塗装図を参考にしてください。なお細部マークは描かれていない機体も見られます。

※機体全体色 338 はあくまでも目安とお考えください。
指定色が入手しにくい場合や缶スプレーで塗装する場合は、明るめのグレーを選ばばよいでしょう。

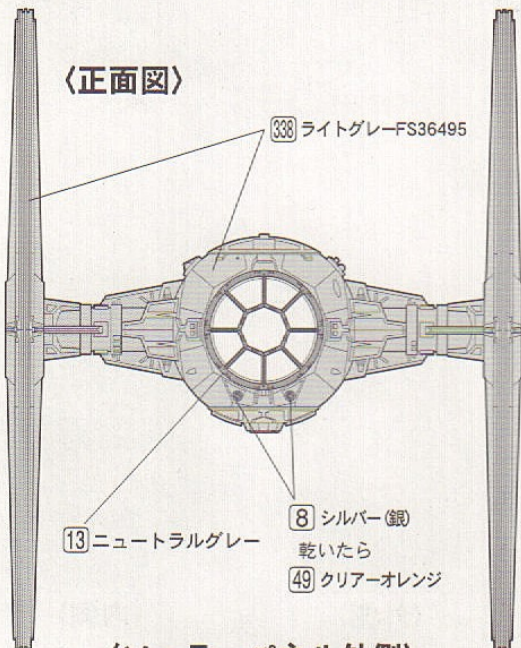
〈コクピット乗降ハッチ(パーツF2)〉



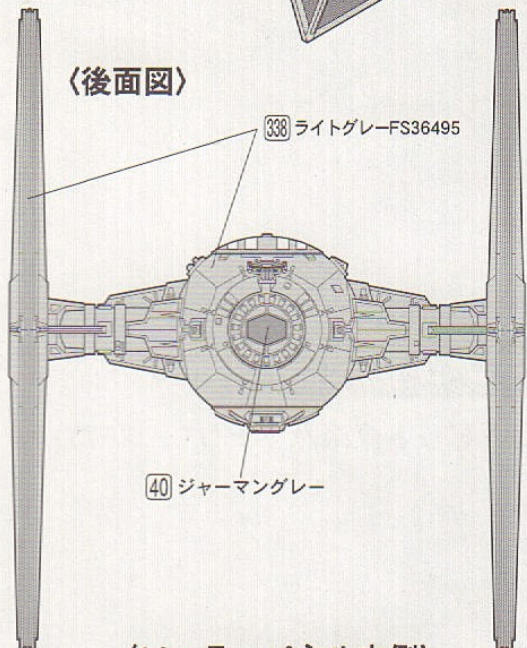
〈基本図〉



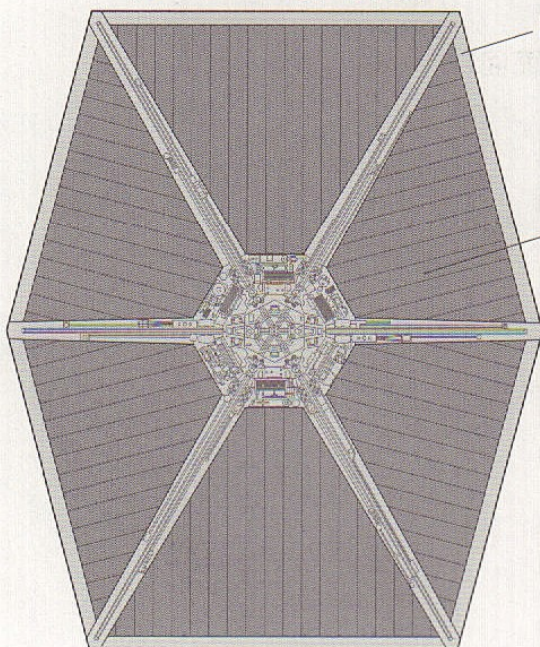
〈正面図〉



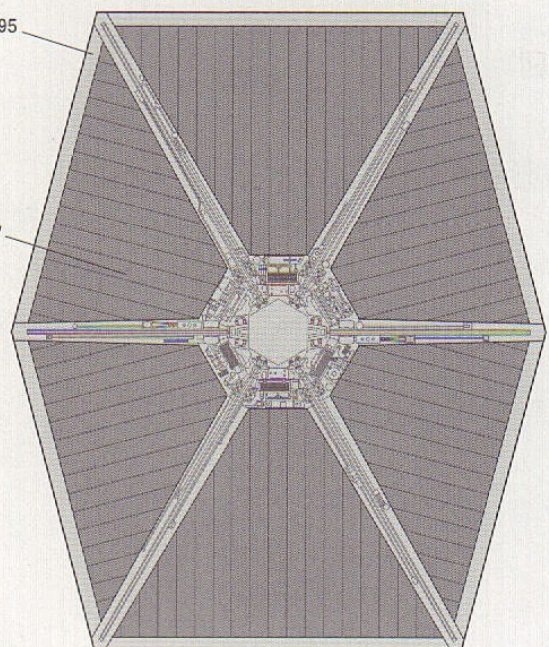
〈後面図〉



〈ソーラーパネル外側〉



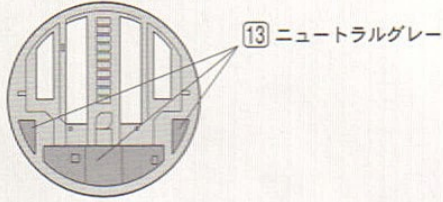
〈ソーラーパネル内側〉



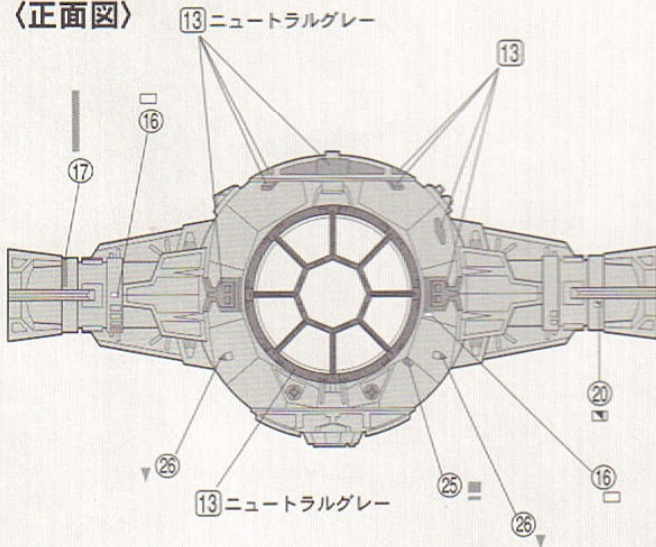
マーキング例 1

※全体塗装ならびに表記のない細部塗装は裏面の基本塗装と同じです

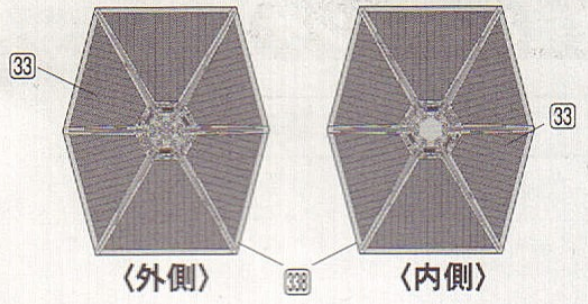
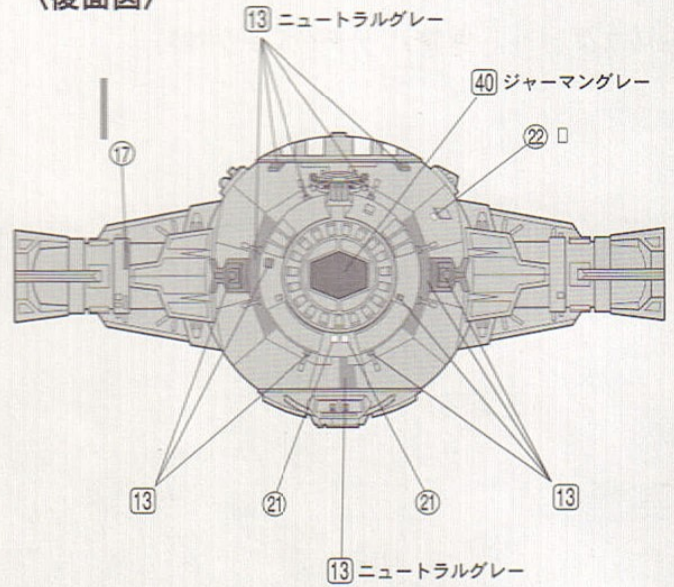
〈コクピット乗降ハッチ(パーツF2)〉



〈正面図〉



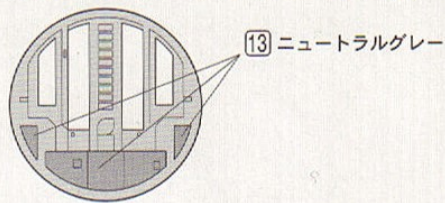
〈後面図〉



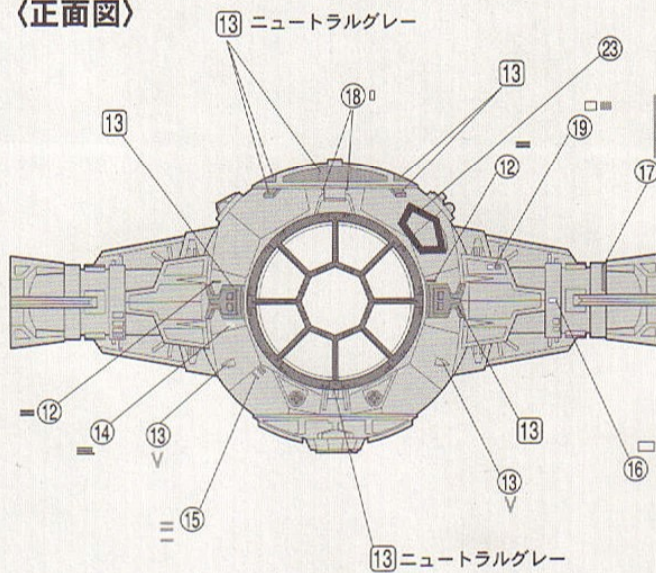
マーキング例 2

※全体塗装ならびに表記のない細部塗装は裏面の基本塗装と同じです

〈コクピット乗降ハッチ(パーツF2)〉



〈正面図〉



〈後面図〉

